



振り込め詐欺の手口

「オレオレ詐欺」

事例

孫から電話がかかってきた。「おばあちゃん、今日中に借金を返さないと大変なことになる」と泣かれた。時間がないので、とにかく急いで孫の言う口座にお金を振り込んだが……。

対策アドバイス

- 家族を装う手口が多く「オレオレ詐欺」と呼ばれます。母さん、父さんなどと呼ばれて誤解する場合があります。
- 警察官や弁護士、会社の同僚などを装うケースもあります。
- いったん電話を切って、ほかの親族に連絡するなど冷静に事実確認をしましょう。



身に覚えのないものが届く手口

「架空請求詐欺」

事例

「法務省許可債権回収業者」などを名乗る会社から請求督促状が届く。内容はアダルトサイト利用料金未納。支払いや電話連絡がないと自宅に取り立てに行くという記載もあり気が動転している。

対策アドバイス

- 覚えがなければ無視しましょう。
- 安易に連絡すると電話番号など新たな個人情報を知られてしまいます。
- 不安が残るようであれば、消費生活センターなどに相談しましょう。



「還付金詐欺」

事例

「年金未払い分の還付手続きの期限です」と年金事務所の職員を装って電話が入る。あわててキャッシュカードを持って銀行に行き、携帯電話で担当者の指示を受けながらATM（現金自動預払機）を操作したら、自分の預金口座からお金が消えた……。

対策アドバイス

- 年金事務所、税務署、市役所などの職員を装い、年金や税金などの還付金があると言って、逆にお金を振り込ませる詐欺です。
- 相手が携帯電話でATMの操作誘導をしたら詐欺を疑いましょう。
- 1日のATM利用限度額を引き下げておくなど被害を最小限にする予防も大切です。



「送りつけ商法」

事例

代金引換の宅配便が届いた。夫が注文したものと思い代金を支払って受け取ったが、夫も知らないとのこと。伝票に書かれた事業者に電話してもつながらない。

対策アドバイス

- 一度代金を支払うと、相手が悪質業者の場合はお金を取り戻すことが困難なので、受け取る前の注意が重要。不安なときは確認できるまで受け取り保留や拒否をしましょう。

